



5. 総合政策部の現状		
<p>(1)重要成功要因</p> <p>政策形成を縦割りではなく、組織横断的に行う。政策形成プロセスの透明化を図る。市民力・地域力を活用する。職員自らが課題認識を行ったうえで、企画・立案できる環境を整える。</p>	<p>(2)経営上の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップダウン型ではなく、全員参加型、ボトムアップ型の意思決定を行っている。</li> <li>・部長が課長補佐以下の職員と定期的に個別ミーティングを行い、職務推進上の課題などについて、共有化と解決に向けた指導が行われている。</li> <li>・部長メールを配信し、部長の仕事観や人生観を伝えることにより、職員のモラルやモチベーションを高めている。</li> <li>・業務改善の提案をメールで受け付けるなど、職員の自由な発想を受け入れる組織風土がある。</li> <li>・一人1目標を設定し、職員が目的意識を持って仕事を進めるよう促している。</li> <li>・市民実感調査、財政状況、決算成果を公表している。</li> <li>・事業ディスカッションを行っている。</li> <li>・主要プロジェクトについては、市長をヘッドとする推進本部をはじめ、プロジェクトチームなどを設置している。</li> <li>・各所属長において職員の研修ニーズを把握し、参加を担保するよう努めている。</li> <li>・地域別懇談会など様々な機会を通じて、地縁・志縁団体等との良好な人間関係を築いている。</li> </ul>	<p>(3)経営上の課題</p> <p>市民の満足に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの新しい、特に若者の市民参画を促す必要がある。</li> <li>・市民に対するきめ細かな情報提供について、さらに工夫する必要がある。</li> <li>・地域分権の主体である地域組織と、さらに円滑な関係を構築する必要がある。</li> <li>・市民意識の醸成に向けた的確な情報発信が必要である。</li> </ul> <p>組織体質の改善に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の適性や能力に現在の仕事に向いていない」「仕事に精神的不安を感じている」職員の割合が全庁より高い。</li> <li>・部の実行計画等について、職員一人ひとりが認識しているとは言えない。</li> <li>・参画と協働の取り組みについて、意識して仕事を進めている職員の割合が低い。(全庁ベース)</li> </ul>

6. 総合政策部の重点目標	
<p>(1)市民満足の向上に向けて</p> <p>事業ディスカッションなど、公募を行う予定の事務事業について、老若男女や地域バランスが取れた委員を選出する。地域住民等との協議を進め、より良い地域分権制度を構築する。市民に分かりやすく、タイムリーな情報を提供し、事業の評価やホームページ閲覧者のアクセス件数を把握する。本市の魅力や活動を積極的に市内外に発信する。財政の健全化を図る。</p>	<p>(2)組織体質の改善に向けて</p> <p>職員相互が褒め合える組織文化を醸成する。組織の方針と業務の連携を徹底する。現場目線で考える集団を作る。要請された業務を的確にこなし、自己実現に結び付けることができる職員を養成する。業務の仕分け、効率化など仕事の的確なマネジメントを行い、労働時間の適正化、職場環境の改善を図る。職員の倫理観を育む取り組みを進める。経営品質向上プログラムを的確に運用し、継続的に市役所改革を進める。</p>

7. 総合政策部の目標							
指 標		H24実績	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
施策評価指標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合 定住志向の強いまちをめざすため	68.1%	70.5%				80.0%
	必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合 情報の伝達度を分析するため	64.8%	65.0%				66.5%
	前期基本計画の施策評価達成率 計画を的確に進行管理するため		20.0%				100.0%
	市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合 円滑なコミュニケーションの度合いを分析するため	18.3%	18.5%				19.0%
	実質赤字比率 財政健全化指標を捕捉するため						
	実質公債費比率 財政健全化指標を捕捉するため	11.7%	13.0%				13.5%
	将来負担比率 財政健全化指標を捕捉するため	152.6%	150.0%				150.0%
向 上 市 民 指 標	経常収支比率 財政健全化指標を捕捉するため	97.5%	97.0%				92.0%
	ホームページアクセス数 市民と行政の相互の情報伝達を把握するため	4,511,017	4,600,000				5,000,000
組 織 体 質 改 善 向 け 指 標	市役所窓口サービスの満足度(10点満点)	8.0	10.0				10.0
	適性や関心、能力からみて現在の仕事に向いている 職員満足度が全庁より低い	3.04	3.22				3.22
	過度の精神的不安を感じることなく仕事を進めることができている 職員満足度が全庁より低い	2.68	2.79				2.79
	休暇が取りやすい 職員満足度が全庁より低い	1.90	2.83				2.83
	現在の総労働時間は適当である 職員満足度が全庁より低い	1.90	3.11				3.11
	行政経営品質向上プログラムの認知度(全庁) 未だ認知度が低く、向上させる必要があるため	39.0%	100.0%				100.0%
	グジョブカードの提出枚数	12枚	30枚				50枚